

2025年7月4日付下野新聞朝刊第21面より



26～31日、香川県で開かれる高校文化活動の祭典「第49回全国高校総合文化祭」（かがわ総文祭2025）。本県代表として全国の舞台に臨む高校生紹介の9回目は将棋部門に出場する4人と2校。

（井上裕史）

有終の美へ“現役続行”

なかがわ まほ
幸福の科学学園3年 中川 真穂さん

昨夏は初出場となった女子個人戦で予選突破。今年の県大会も準優勝し、全国切符をつかんだ。「重圧がある中、県代表になれてうれしい。最後なので、家族や友人たちを喜ばせたい」と有終の美を誓う。

集大成のつもりで臨んだ全国高校文化連盟新人大会では女子個人戦5位。当初は同大会での引退を決め、



悔いなくやり切ったはずだった。だが、春休みに帰省すると、両親に届いたたくさんのお祝いメッセージを見て“現役続行”を決意。期待や応援の大きさに心を動かされた。

人と話すのは苦手なタイプだが感想戦を重ね、コミュニケーション能力が向上。もともと得意とする果敢な攻めを磨きつつ、経験を糧に、戦況を見極める冷静さも身に付いた。

「数学を頑張ると、将棋でも考え抜けるようになった」。勉強と総文祭、受験生らしくどちらも全力だ。